

問 C. 公共測量の用地測量について、次の各問に答えよ。

問 C-1. 表 5-2 は、公共測量における用地測量の標準的な作業工程及び主な作業内容を示したものである。〔ア〕～〔キ〕に入る最も適当な語句又は数値を次のページの語群から選び、解答欄に記せ。

表 5-2

	作業工程	主な作業内容
1	作業計画	用地測量を実施する区域の地形、土地の利用状況、植生の状況等を把握し、用地測量の細分ごとに作成する。
2	資料調査	土地の登記記録の調査は、法務局等に備えられた土地の登記記録について登記事項証明書等に基づき、〔ア〕を作成する。
3	復元測量	〔イ〕に先立ち、地積測量図等に基づき境界杭の位置を確認し、〔ウ〕等がある場合は復元すべき位置に仮杭を設置する。
4	〔イ〕	復元測量の結果、公図等転写図、〔ア〕等に基づき、現地において関係権利者立会いの上、境界点を確認し、標杭を設置する。
5	境界測量	現地において境界点を測定し、その〔エ〕を求める。
6	〔オ〕 測量	境界測量等において隣接する〔オ〕の距離を、トータルステーション等を用いて測定し精度を確認する。
7	面積計算	境界測量の成果に基づき、各筆等の取得用地及び残地の面積を算出し面積計算書を作成する。
8	用地実測図 データファ イルの作成	前の工程までの結果に基づき、用地実測図データを作成する。用地実測図データファイルは、境界点の〔エ〕等を用いて作成する。用地実測図データの地図情報レベルは、〔カ〕を標準とする。
9	〔キ〕 データファ イルの作成	前の工程までの結果に基づき、〔キ〕データを作成する。〔キ〕データファイルは、用地実測図データの境界点の〔エ〕等の必要項目を抽出するとともに、現地において建物等の主要地物を測定し作成する。

〈次のページに続く〉

語群

境界確認	境界杭設置	境界点間	現況実測平面図	座標値
建物調査表	土地調査表	廃点	亡失	面積
用地平面図	250	500	用地幅杭点間	

問 C-2. 道路の拡幅に必要な用地取得を行うため、用地測量を行うこととなった。